



KYODEI NEWS

第184号



共栄システム株式会社

〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目15番7号

TEL(06)-6535-7511 FAX(06)-6535-7517

E-mail osaka@kyoeisystem.co.jp

URL <http://www.kyoeisystem.co.jp>

<運送会社の経営情報>

深刻化する乗務員不足

昨年3月に国土交通省物流政策課が発表した「労働力不足問題について」の中で、運送業界における乗務員不足の現状について、次の分析報告が記載されていました。

- ①トラック運送業界の乗務員不足は以前の調査時点に比べ、人手不足感が増している
- ②全体の乗務員数は、時系列的に見て大きく減少しているわけではないが、貨物輸送量等の伸びから、乗務員1人当たりの負担は以前と比べて増加している
- ③トラック乗務員は、他の主要職種に比べて労働時間が長く、給与総額が低い

現実には、トラック乗務員の給与は他の主要職種と比べて低いのでしょうか？

下表は、トラック乗務員の年齢別年収と国税庁の発表した全職種平均の年収との比較です。

(平均年収比較表)

年齢／年収	普通・小型乗務員	大型乗務員	国税庁
19歳以下	1,958,400	———	1,261,000
20～24歳	3,468,400	3,081,800	2,461,000
25～29歳	3,202,800	3,682,700	3,388,000
30～34歳	3,546,900	4,030,100	3,842,000
35～39歳	3,679,100	4,256,800	4,250,000
40～44歳	3,723,200	4,287,100	4,594,000
45～49歳	3,685,600	4,374,300	4,909,000
50～54歳	3,812,000	4,037,700	4,910,000
55～59歳	3,825,500	4,124,600	4,854,000
60～64歳	3,321,700	3,677,900	3,623,000



(普通・小型乗務員、大型乗務員は男子乗務員)

上表から見られますように、トラック乗務員の年収は25～30歳頃から他の職種と比べて低くなり、その後年齢の増加と共に格差が拡大しています。これでは、若い優秀な乗務員は集まりません。これを克服するためには、給与水準を上げることが一番の特効薬に違いありませんが、運送業界の一般的な収益状況では、限界があります。

給与水準が低くても乗務員を確保するためにはどのような対策が可能でしょうか？

それには以下の点が挙げられます



- ①希望のある会社づくりを目指す(ビジョンづくり)
- ②モチベーション対策(表彰制度、社会貢献等、職務拡大等)を講じる
- ③多様な働き方を提案する(労働時間、女性・高齢者の活用)
- ④賃金制度の複線化

今後、乗務員の高齢化とともに、乗務員の不足は益々顕著になると推測される中、企業としても、若手乗務員の発掘に本腰を入れざるを得ない状況にあります。

※※共栄ニュースはeメールによる配信も承ります。※※

ご要望の際はメールアドレスをFAX(06-6535-7517)までご連絡下さい。

貴社名		アドレス	
-----	--	------	--